

牛の集団下痢に注意！

◎冬期に流行する牛コロナウイルス病とは

成牛の冬季赤痢として知られ、急激な気温の低下や著しい気温の日内差がある時によく見られます。死亡例は殆どありませんが、搾乳牛で発生すると、一斉に下痢をし、泌乳量が激減します。

【症状】

・子牛

潜伏期間：1～2日

症状：乳白色から黄色の水様性下痢、
発熱、脱水、鼻汁、発咳

・成牛

潜伏期間：3～7日

症状：淡褐色から暗緑色の水様性下痢、
血便、泌乳量の大幅な低下

感染：ウイルスが下痢便や鼻汁を介して感染



ウイルスの感染速度が速いため、対応が遅れると近隣の農場へ感染が拡大する恐れがあります。

牛舎内で急速に広がる下痢がみられたら、
十和田家畜保健衛生所まで連絡してください。

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235

休日・夜間 090-6453-7023